



# 栃木市 合併記念式典



## 輝かしい未来への門出を祝して

10月2日(土)、栃木文化会館で合併記念式典が、総務大臣(代理)をはじめ、県知事、県議会議長、国会議員、県議会議員、近隣首長・議長等の来賓や市行政関係者、自治会、消防団等の総勢約920人の皆さんの出席のもと執り行われました。

合併記念式典は、栃木県立栃木翔南高校音楽部による新市の門出にふさわしい華やかな演奏で開会。式典で、鈴木市長は「各市町がそれぞれ守り育ててきた多種多様な資源や良さをいかしつつ、互いに連携し支えあいながら、渾然一体となつて、新生「栃木市」の躍進に向けて、総力を結集してまいりたい」と式辞を述べました。その後、来賓祝辞、合併功労者総務大臣表彰・感謝状贈呈が行われました。

また、合併したそれぞれの地域(旧栃木市・大平町・藤岡町・都賀町)の特色等を紹介した映像の上映、春風亭柳橋師匠の落語も行われました。

この式典において、新市の顔・シンボルである「市章」が初披露されました。新生栃木市の市章は、2～3月にデザインの公募を行い、総数1,018件の応募の中から、新市市章選定委員会の議論・住民アンケート等を重ねて決定されたものです。デザインを考案した石川悦史氏(栃木市)には市長から賞状と記念品が贈られました。

(関連記事4ページに掲載)